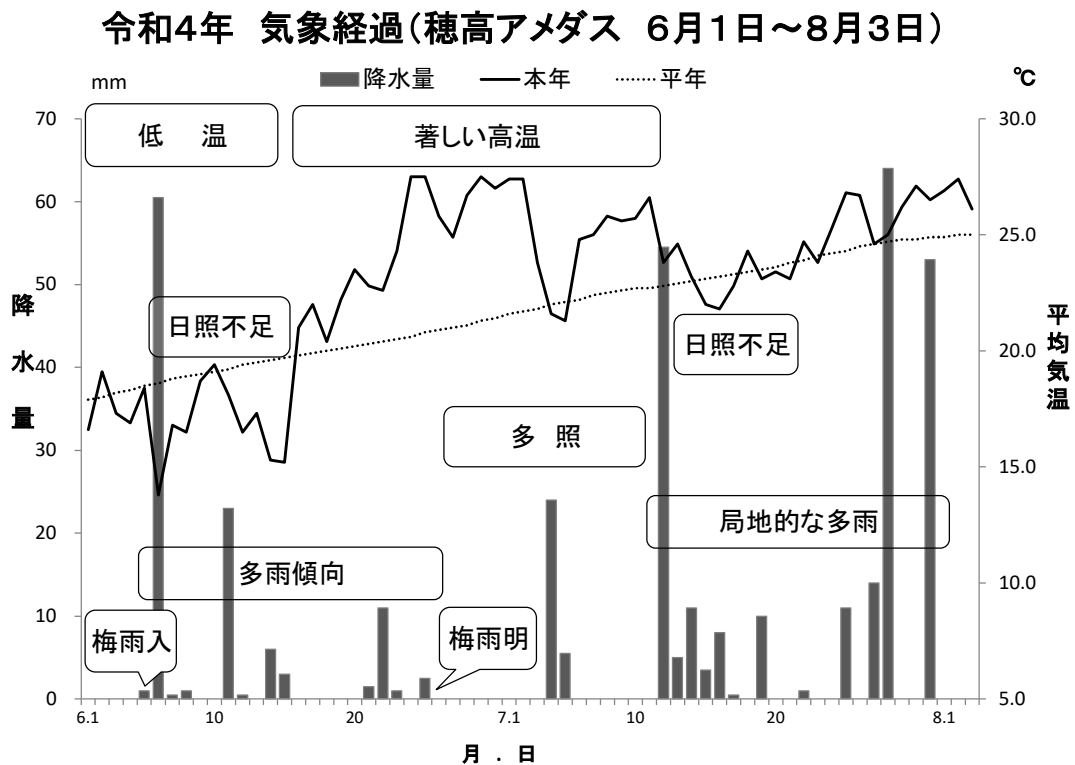


令和4年 作物技術普及情報 第15号 (水稻の生育状況・収穫開始予測等について)

1 気象状況

大気的不安定な状況が続いており、局地的に雷を伴う大雨で降水量が多くなっています。

気温は概ね平年並みですが、今後の気温は平年より高温が予想されています。また気象庁から「高温に関する早期天候情報」（8月4日付）が出されており、8月10日頃からかなりの高温が予想されています。



2 水稻の生育状況について

6月下旬以降の著しい高温の影響で、生育はかなり進んでいます。定点圃場の調査では、コシヒカリの出穂期は8月1日で平年より8日早でした。これは出穂が最も早かった平成30年より早く、定点圃場の調査が始まって以来、最も早い出穂期です。

8月4日現在、現地（平坦地）の生育状況

- ・ 早生品種（あきたこまち、美山錦等）：登熟初期。
- ・ コシヒカリ
 - 4月末～5月初旬植：傾穂期～登熟初期
 - 5月上旬植：穂揃期～傾穂期
 - 5月中旬植：出穂始～出穂期

出穂がかなり早まっているので、成熟期も平年よりかなり早まる事が予想されています。

安曇野市 豊科 標高550m 5月15日植(稚苗)の場合 8月4日現在

コシヒカリ 稚苗	幼穂長 2mm の実測日	出穂期 の実測日	成熟期 の予測日
本年	7月10日	8月1日	9月14日
平年	7月16日	8月9日	9月23日
平年差	平年より7日早		9日早

あきたこまち 稚苗	幼穂長 2mm の実測日	出穂期 の実測日	成熟期 の予測日
本年	7月3日	7月24日	9月2日
平年	7月6日	7月28日	9月8日
平年差	平年より4日早		6日早

3 水稻の刈り取り開始予測

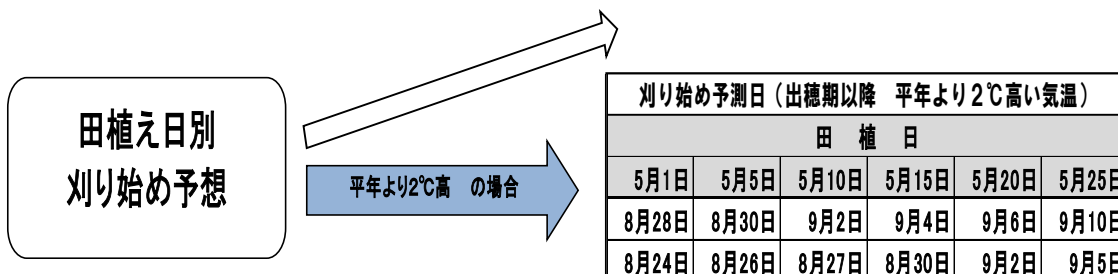
出穂がかなり早まっており、平坦地・5月初旬植・コシヒカリの刈り取り開始時期は9月初旬からが予想されています。また早生品種の刈り取り開始時期は8月25日頃からが予想されています。

今後も高温が予想されていますので、刈り取り開始予測の「高温版」も活用いただき、施設稼働の計画や収穫計画にご活用ください。

標高別・移植日別の詳細は「8月4日現在の水稻刈り始め予測(平年並み版、高温版)」をご覧ください(ホームページにも掲載いたします)

【表は豊科定点圃場:標高540mの推定値(8月4日現在)です】

コシヒカリ 標高550m	苗質	推定出穂期						刈り始め予測日(出穂期以降 平年並みの気温)					
		田植日						田植日					
		5月1日	5月5日	5月10日	5月15日	5月20日	5月25日	5月1日	5月5日	5月10日	5月15日	5月20日	5月25日
稚苗	7月26日	7月28日	7月30日	8月1日	8月3日	8月6日	9月1日	9月3日	9月6日	9月9日	9月11日	9月15日	
中苗	7月22日	7月24日	7月25日	7月28日	7月30日	8月2日	8月28日	8月30日	8月31日	9月3日	9月6日	9月10日	



4 高温登熟障害対策について

向こう1ヶ月の気温は「平年より高い」と予想されており、高温登熟障害対策に注意はらう必要があります。

これからのポイントは「出穂前後3週間の湛水」です。出穂から2~3週間が高温で経過(高温登熟)すると、白未熟米や胴割米の発生しやすい体質になります。

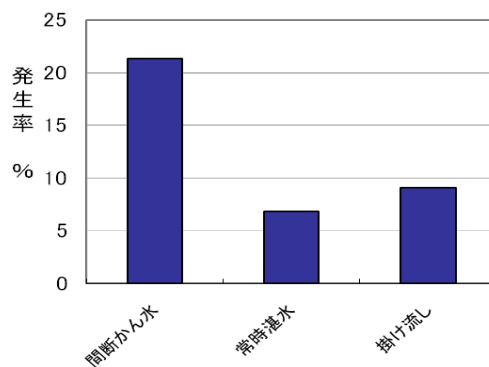
高温登熟による白未熟米、胴割米の発生防止のため、出穂前後3週間は、圃場に水が入っている状態としてください。

水路に水が十分あり、生育が遅れる恐れがなければ、昼～夕方に4時間程度の掛け流しもお検討ください。

土壌水分を確実に保持し、根の老化防止と健全な登熟をはかるため、水管理の徹底をお願いします

5 その他

葉いもち病およびカメムシ対策、大豆の干ばつ対策については、技術情報14号をご覧ください。



水管理と白未熟の関係(2010年、農業試験場)

注) 品種あきたこまち。発生率は水口区、水尻区の平均。湛水処理は出穂前後2週間の常時湛水、掛け流しは出穂後2週間の掛け流し。